

**本質的な問い** わたしたちは、地域とどうつながり、生きていくのか。

**単元名** 本通みんなで防災

**児童生徒の実態**

- ・防災については学校全体で取り組んでいることもあり、比較的意識は高い。
- ・停電等、災害により実際に困った経験をした児童は24%と、全体の1/4である。
- ・課題を追究し、調べたことをまとめていく学習は好むが、発信することを好まない児童が多い。



**目指す具体の姿（育成を目指す資質・能力）**

- ・既知と新しい知識を関連づけたり組み合わせたりして、新しい知識を身につけることができる。（知識・技能）
- ・必要な情報を比較・関連づけ・整理分析して課題解決について論理的に考え、根拠を明確にして伝えることができる。（思考力・判断力・表現力）
- ・自ら課題を見付け、自分の役割を自覚し、主体的に果たすことができる。（学びに向かう力・人間性等）

**単元を貫く問い** 地域の防災を進めるために、自分たちに何ができるだろうか。

**【第3次】（10時間）**

**課題** 本通で防災を進めるために、大切なことを地域の人に伝えよう。

冬まつり

地域合同防災訓練

表現方法の良い点と欠点

**個別の問い**

- ・身近な人を守るために、防災について調べたことを誰にどのような方法で知らせますか。

（しかけ）表現方法であるポスターやリーフレット、新聞のそれぞれの良さと欠点を事前にまとめておき、表現の対象や時期、コロナ対策等の諸要素と関連付けて考えさせる。

**【第2次】（16時間）**

**課題** 身近に起こりうる危険について考え、調べよう。

**個別の問い**

- ・災害はどうして起こるの。予知はできないの。
- ・家の周りで、災害が起きた時に危険な場所はどこだろう。

社会科

国土の気候の特色

タブレットを使った、家の周りの危険箇所の撮影

（しかけ）災害を「洪水」と「土砂災害」にしぼり、平地と傾斜地、一戸建てとマンションといった児童の住環境によってグループ分けをすることで、児童が災害に対してより身近に感じ、主体的に活動できるようにする。

**【第1次】（4時間）**

**課題** 災害から身を守るために必要なことは何かを考えよう。

**個別の問い**

- ・災害から身を守るためにわたしたちに必要な力とは何だろう。

国語科

事実と考えを区別しよう

（しかけ）過去の事例を基にしたワークシートを作成し、災害に見舞われそうになった際にどう行動するのかを考えさせることにより、災害に対する知識と、素早く行動に移すための判断力が必要になることに気付かせる。